

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスいるか		
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		2026年4月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(有)ユアホームサービスの3つの事業を通して(生活介護・居宅介護等・放課後等デイサービス)障がい福祉制度連携につながる可能性を見つけられる。	夏祭りなどの、他事業との交流が持てる。	保護者からの意見や社外学習参加などで学んだ事でテーマをしぼって学習会をおこなっていく。
2	異年齢集団の活動を通して幅広い人間関係を体験出来ることで、将来豊かな社会生活を築いていける力を養うことができる。	前日の子どもたちの様子を支援開始前にミーティングの場等で共有し、個々の成長・課題点などを次の支援に生かすようにしている。	保護者同士の交流が持てる場の企画や、施設見学等を行い、地域との交流を深めていく。
3	帰りの会等で児童自身が1日の自己評価を行い(中高生の意見をもらい)評価を確認している。	児童が主体的に放課後等デイサービスでの生活づくりができるように、児童らが役割を分担して行事等に取り組むよう進めている。	児童達主体のデイサービス生活を送っていくために、児童、保護者、支援員が話し合いを深めながらデイサービスでの生活を豊かに築いていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域別の、個別支援学習実践に弱みがある。	全職員参加の事例検討会などを開催し、日々の支援内容を深めていく。	落ち着ける環境の改善では、児童のスペースと、職員のスペースの区切りや児童個々が集中できるブースの設置を充実させていく。
2	保護者と支援員との情報共有は行われているが、保護者同士の交流が持てる企画などが弱い。	保護者参加の機会をもうけ、保護者とともに取り組める行事などを計画し、児童と保護者が行事体験を通しお互いの気持ちが届く機会がもてる企画をしていく。	食育の取り組みを継続しながら、親子クッキングやバーベキューなど親子体験型の取り組みなども進めていく。
3	他事業所との交流などに弱さがある。	学年の進級や進学など、児童の環境が変わる場面での申し込みなどを行っていく。	施設間の移行などがある場合に向けて、事業所で得ている情報内容に誤認がないかなど相談室等と連携し進めて行く。